

原因を表す“是…的”構文の用法

董 雪 嬌

Abstract

There are two types of “shi...de” constructions to express the a cause. One type of “shi...de” construction is used to explain the cause, and to describe a object that may not be a specific situation. The people who are speaking believe that it should be added to explain the situation. Another type of “shi...de” construction is used to explain the results that are formed as an affairment of a certain degree. This type of “shi...de” construction can be translated as a resultative complement. The cause of the explanation and the object of the description are the same situation.

キーワード……結果 原因 “是…的” 補足説明

1 はじめに

現代中国語において“是…的”構文はまだ構文構造や意味用法が明らかにされていない構文形式の一つである。“是…的”構文は分類基準の違いにより、いくつかのタイプに分けられている。しかしながら、「已然義」を表すタイプについてはいろいろな角度から議論されているが、ほかのタイプはあまり言及されていないか、または異なるタイプに分類されることにとどまっている。たとえば、次のような原因を表す“是…的”構文がその例である。

(1) 她脸红恐怕是海风吹的。 (劉月華 2001: 767)

(彼女の顔が赤くなったのは海風に吹かれたからだ。)

(2) 明天是星期天, 你到我家吃中饭吧, [...]是我妈叫我特邀你的。 (杉村 1999: 57)

(明日は日曜日だ。昼ごはんはうちで食べよう。[...]母があなたを招待するつもりなんだ。)

劉月華(2001)は「已然義」を表す“是…的”構文が焦点に当てられる成分の違いにより、五つの種類に分け、原因を表す“是…的”構文がその中の一種類であると分析している¹⁾。一方、杉村(1999)は「已然義」を表すメカニズムの違いにより、「情報焦点指定型」と「事件原因解説型」の二種類に分けている。

しかし、木村(2002: 244)は、“是…的”構文は「一般に<原因>を表す句や節を構成しにくい。」と指摘し、次の例を挙げている。

- (3) 甲：“?? 他 为什么 迟到的？” (木村 2002 : 245)
 彼 なぜ 遅刻する-de
乙：“?? 因为 遇到 汽车 事故 迟到的。”
 ~なので 遭遇する 列車 事故 遅刻する-de

“是…的”構文は原因を表すことができるが、なぜ<原因>を表す句や節を構成しにくいのだろうか²⁾。“是…的”構文はどのような状況で原因を表すのであろう。原因を表す“是…的”構文にはどのような特徴があるのであろう。本稿では、これらの問題を明らかにする。

次節では、まず中国語の原因表現及び原因を表す“是…的”構文に関する先行研究を紹介する。

2 先行研究

因果関係を表す文は原因を表す節と結果を表す節の二節から構成される。原因を表す節と結果を表す節の語順の違いにより、因果関係を表す文は「原因-結果」と「結果-原因」の二種類に分けられる。一般的に、「原因-結果」の語順は原型であり、「結果-原因」の語順は変形と考えられている³⁾。原因を表す“是…的”構文の語順は「結果-原因」となっている。次節では、まず、現代中国語において「結果-原因」の語順で因果関係を表す文を見てみる。

2.1 中国語における原因表現

通常、因果関係を表す語順は「原因-結果」となっている。「結果-原因」の語順は「原因」を強調するため、「原因-結果」の語順を倒置した結果と見なされるのが一般的である（范晓主编（1998）；吕叔湘主编（1999）；肖任飞（2010））。肖任飞（2010）は、「結果-原因」の因果複文を「断定性“果-因”複文」と「補充性“果-因”複文」と分け、「断定性“果-因”複文」は原因を断定し、典型的な表記は“是因为”であり、「補充性“果-因”複文」は原因を補足説明し、典型的な表記は“因为”であると記述している。「断定性“果-因”複文」と「補充性“果-因”複文」について、次の(4)-(5)の用例を挙げている。

- (4) 孟由由要请客了，初冬的一日，放学之后她邀请尹小跳星期天去她家赴宴。她所以选择这个时间，是因为这段时间家中只她一人。 (肖任飞 2010:176)
(孟由由はみんなにご馳走をするつもりだ。初冬のある日、放課後、彼女は尹小跳を日曜日にうちに来るように誘った。彼女がその日を選んだのは、そのとき家の中に彼女一人だからだった。)
- (4) ?孟由由要请客了，初冬的一日，放学之后她邀请尹小跳星期天去她家赴宴。因为这段时间家中只她一人。她所以选择这个时间。 (肖任飞 2010:176)

- (5) 龙卓立刻明白了，刚才这个操着标准普通话的陌生女人是有意使用固定电话打的，因为只有这样，才能增加可信度，而倘若使用手机就难说了，在今天，手机是最可疑的通讯工具。
(肖任飞 2010:179)

(龍卓は分かった。先ほどの標準語で電話した女がわざわざ固定電話を使ったのは、信頼度を上げるためなのだ。もし携帯電話を使うと相はいかないだろう。携帯電話は一番疑われる通信手段なのだから。)

- (5) 龙卓立刻明白了，因为只有这样，才能增加可信度，在今天，手机是最可疑的通讯工具，刚才这个操着标准普通话的陌生女人是有意使用固定电话打的，而倘若使用手机就难说了。

例(4)は「断定性“果—因”複文」であり、例(5)は「補充性“果—因”複文」である。肖任飞(2010:176)によると、「断定性“果—因”複文」の情報構造は結果を表す前文は旧情報であり、原因を表す後文は新情報である。「断定性“果—因”複文」は「原因—結果」複文の倒置ではない。「断定性“果—因”複文」はテキストの中で、「原因—結果」の語順に復元することができない。一方、「補充性“果—因”複文」の前文と後文はともに新情報である。語順はテキストの中においての関係性により決められる。例(5)の「補充性“果—因”複文」は(5')に語順を変更することができない。

肖任飞(2010)は主に“是因为”と“因为”を中心に「結果—原因」の語順の因果構文について詳しく考察したが、“是…的”構文については言及していない。肖任飞(2010)の考察からも分かるように、「結果—原因」の語順になるのは、必ずしも「原因」を強調するためとは限らない。

2.2 原因を表す“是…的”構文について

2.2.1 杉村(1999)

杉村(1999:47)は「已然」の事柄を表す“是…的”構文を“信息焦点指定型”[情報焦点指定型]と“事件原因解説型”[事件原因解説型]に分けて、それぞれの情報構造と「已然義」を表すメカニズムについて考察した。その中で、事件原因解説型“是…的”構文は「已然」の意味を表すことができるのは、このタイプの構文はよく「已然」の事柄の発生原因を説明するからであると指摘している。

- (6) 几片红东西从外边打在车窗上，是西红柿，看来是前边谁把剩饭扔出车被风刮回来的。

(杉村 1999:60)

(幾切れかの赤い何かが列車の窓にぶつかった。トマトだ。前の席のだれかが残飯を窓のそとに捨て、それが風に吹き戻されてきたのだった。)

杉村（1999）によると、例（6）では、“看来是前边谁把剩饭扔出车被风刮回来的（前の席の
だれかが残飯を窓のそとに捨て、それが風に吹き戻されてきたのだった。）”は「已然」の出来
事“几片红东西从外边打在车窗上，是西红柿（幾切れかの赤い何かが列車の窓にぶつかった。
トマトだ。）”の発生原因を説明している。客観的時間順序から見ると、「誰かが残飯を列車の窓
から投げ捨て、風に吹き戻されてきた」ことが原因で、その結果「赤いものが列車の窓ガラス
にぶつかった」。結果は「已然」の事柄であれば、原因解説の“是…的”構文も当然「已然」の
事柄を表している。杉村（1999）はまた例（7）を挙げているが、例（7）は例（6）と区別して
考える必要がある。

(7) 明天是星期天，你到我家吃中饭吧，[...]是我妈叫我特邀你的。 （杉村 1999 : 57）

（明日は日曜日だ。昼ごはんはうちで食べよう。[...]母があなたを招待するつもりなんだ。）

杉村（1999 : 56）は事件原因解説“是…的”構文はある出来事が発生した後、その発生原因
を解釈し、どういうことかを説明すると指摘し、例（7）と例（6）を区別せずに、同一に考え
ている。本稿では、原因を表す“是…的”構文の使用状況を明らかにするため、例（7）と例（6）
を区別する必要があると思う。原因を表す“是…的”構文は何に対しての解説なのかを明らか
にする必要がある。

2.2.2 劉月華（2001）

劉月華（2001）は現代中国語における“是…的”構文を“是…的(一)”と“是…的(二)”に分
けている⁴⁾。また、“是…的(一)”において焦点を当てられる成分の違いにより、五つのタイプ
に分けている。その中に焦点はある行為あるいは状況に当て、この行為または状況はある結果
の原因である。“是…的”に挟まれた成分は文の焦点であり、原因として強調されていると指摘
している。

(8) 她脸红恐怕是海风吹的。 （劉月華 2001 : 767）

（彼女の顔が赤くなったのは海風に吹かれたからだ。）

(9) 祥子头上留了块疤，是小时候驴啃的。 （劉月華 2001 : 769）

（祥子の額の上のあざは小さいころロバにかじられたからだ）

劉月華（2001）によると、例（8）では、彼女は顔が赤くなっていることは結果であり、海風
に吹かれることは彼女の顔が赤くなっている原因である。例（9）では、祥子の頭にあざが残っ
ていることは結果であり、小さい頃にロバにかじられたことは原因である。

劉月華（2001）は焦点の観点から、原因を表す“是…的”構文は“是…的(一)”の一種と分

類したが、どのような状況で原因を表す“是…的”構文を用いるのかについては言及していない。

3 分析

先行研究では、“是…的”構文はある現象の原因を表すことができると指摘したが、どのような現象であれば、“是…的”構文で原因を表すことができるのかを言及していない。本稿では、原因を表す“是…的”構文の説明対象の違いにより、二種類に分けることができると考える。この二種類において、それぞれはどのような状況で“是…的”構文を用いるのかを明らかにする。次に原因を表す“是…的”構文の特徴を究明する。

3.1 事態の原因を補足説明するタイプ

このタイプの原因を表す“是…的”構文は前文で表す事態を補足説明している。“是…的”構文で事態の詳細の経緯を補足することにより、前文で表す事態が起こる原因を補足する。

(10) 明天是星期天,你到我家吃中饭吧,[...]是我妈叫我特邀你的。 = (3)

(明日は日曜日だ、昼ごはんはうちで食べよう。[...]母があなたを招待するつもりなんだ。)

(11) 我呢,也不急,是我的儿子总是要开口叫我的。 (余华 1995: 308)

(おれは慌てなかった。自分の息子なのだから、いずれは話しかけてくるだろう。)

(飯塚容 2002: 134)

(12) 她十分平静地说,前两年死掉了,是中风死的。她平静地告诉我这个消息,嘴角还挂着微笑。 (CCL)

(彼女は平然と言っている。(旦那)二年前に死んだ。卒中にかかったんだ。彼女は平然と私にこのことを伝え、顔に微笑みを浮かべた。)

(13) 中国有那么一大拨人的婚姻遇上问题了,是时代造成的。 (CCL)

(中国で、そんなに多くの人の婚姻に問題があったのは、時代のせいだ。)

(10) では、“是…的”構文は前文の「明日うちで昼ごはんを食べる」ということの原因を補足している。食事をするのは明日の出来事であるが、前文を発話することにより、相手を誘う行為がすでに完了したこと、相手が思いがけない誘いに驚いたので、話し手が食事に誘った理由を“是…的”構文で、「母があなたを招待するつもりなんだ」と補足説明している。(11) では、前文は「私は慌てなかった」ということだけを表し、そのあと、“是…的”構文で、「私の息子だから、いずれ話しかけてくれるだろう」と話し手が前文の内容を補足説明している。(12) では、先に「二年前に死んだ」ことだけを言って、そのあと“是…的”構文で具体的に何の病気で死んだことを補足している。(13) では、先に「現代多くの中国人の婚姻生活に問題があるこ

と」を紹介し、その原因は「時代のせい」であることを“是…的”構文を用いて補足説明している。

例（10） - （13）から分かるように、“是…的”構文が表す原因や理由は、前文で表す事態に対する補足説明である。肖任飞（2010）は「補充性“果—因”複文」は原因を補足説明し、典型的な表記は“因为”であると指摘している。しかし、このタイプの原因を表す“是…的”構文は“因为”に置き換えると、何らかの不自然さが生じる。（下線は筆者による）

（10'）*明天是星期天，你到我家吃中饭吧，[...]因为我妈叫我特邀你。

（11'）a. *我呢，也不急，因为我的儿子总是要开口叫我。

b. 我呢，也不急，因为是我的儿子总要开口叫我的。

（12'）*她十分平静地说，前两年死掉了，因为中风死的。她平静地告诉我这个消息，嘴角还挂着微笑。

（13'）*中国有那么一大拨人的婚姻遇上问题了，因为时代造成的。

（10'）では、“因为”に置き換えると、前文の昼ご飯の誘いは強制的なニュアンスが感じられる。「母があなたを招待するから、絶対に来なければいけない」ということになる。（11'a）では、前文と“因为”だけで原因を表すと、文の座りが悪い。（11'b）のように、“因为”だけではなく、“是…的”を加え、文の座りがよくなる。（12'）では「卒中にかかった」ことは原因であるが、特に原因説明の求めがないのに、“因为”で原因を表すと、この文脈では、不自然な文になる。（13'）では、原因となるのは「時代」であるが、“因为时代（時代なので）”は言えない。

“是…的”構文で原因を表しているのに、“因为”で置き換えることができないのはなぜか。次では、“因为”で原因を表す文例を見てみよう。（下線は筆者による）

（14）他今天没来上课，因为生病了。

（彼は今日学校に来なかった。病気で倒れたから。）

（15）很多女人走到河边又打转身，都是 因为 有了像我这样揪心的哭声。（肖任飞 2010 : 155）

（多くの女性が川辺まで来ると振り返って戻ったのは、胸がしめつけられるような私の泣き声のせいだった。）

（16）我所以会认识他，因为 我和他的孙女玉儿是同学。（肖任飞 2010 : 161）

（私が彼と知り合ったのは、彼の孫が私のクラスメートだからだ。）

例（14） - （16）は“因为”で原因を表す「結果-原因」の構文である。これらの用例も次の（14'） - （16'）が示すように、“是…的”構文で置き換えることはできない。

- (14') * 他今天没来上课, 是生病的。
 (15') * 很多女人走到河边又打转身, 是有了像我这样揪心的哭声的。
 (16') * 我所以会认识他, 是我和他的孙女玉儿是同学的。

例 (10-13) と例 (14) - (16) の違いは何であろうか。原因を表す事態と結果を表す事態を単独で分析してみるとその違いが見えてくる。原因を表す事態を事態 A、結果を表す事態を事態 B とする。例 (10) では、結果を表す事態 B は「昼ごはんをうちで食べる」ことである。原因を表す事態 A は「母があなたを招待する」ことである。例 (14) では、結果を表す事態 B は「学校に来なかった」ことである。原因を表す事態 A は「病気に倒れた」ことである。例 (10) では、事態 A と事態 B は同じく「昼ご飯をうちで食べる」ことを言っている。すなわち、例 (10) の事態 A と事態 B は事態 AB といえる。原因を表す事態 A 「母があなたを招待する」ことは、結果を表す事態 B 「昼ごはんはうちで食べる」ことの一部である。一方、例 (14) では、結果を表す事態 B 「学校に来なかった」ことと原因を表す事態 A 「病気に倒れた」ことは二つの異なる事態である。

例 (17) と (18) から、原因を表す事態は結果を表す事態とは同一事態かどうかにより、“是…的”構文と“因为”の容認度が異なる。(下線は筆者による)

- (17) 分了, 是他不要我的。 (CCL)

(別れました。彼に振られたんです。)

*分了, 因为他不要我了。

- (18) 分了, 因为 他不爱我了。

(別れました。彼がもう私のことを愛していないからです。)

*分了, 是他不爱我的。

例 (17) では、「彼に振られたこと」と「別れたこと」はひとつの事態である。“是…的”構文で「別れたこと」の具体の事情を補足説明している。一方、例 (18) では、彼がもう私のことを愛していなくても、別れるとは限らない。つまり、結果事態「別れる」と原因事態「もう愛していないこと」は二つの事態である。これゆえ、(17) と (18) では、“是…的”構文で表す原因と“因为”で表す原因は互いに置き換えることができない。次の (19) - (20) も結果事態と原因事態はひとつの事態を表している。(下線は筆者による)

- (19) 房门已经开了, 是袁成叫开的。 (CCL)

(ドアはもう開いている。袁成に叩き開けられたのだ。)

(20) 人们就发现秋千的绳索已经断了，是用快刀割断的。 (CCL)

(ブランコの紐が切れているのが発見された。ナイフで切られたのだ。)

(21) 早上我去找芮小姐，刚才她开车把我送到小区门口就走了，是她让我来的。 (CCL)

(朝、芮さんに会いに行つて、彼女が車で私を団地の入り口まで送ってくれた。彼女が私をここに連れてきてくれたのだ。)

例 (19) では、先に「ドアはもう開いている」ということを記述し、そのあとドアが開いているのは「袁成に叩き開けられたのだ」ということを補足説明している。ここで新情報となったのは動作主の「袁成」だけではなく、動作の「叩きあけられた」も新情報なので、動作主の補足説明ではなく、原因の補足説明となっている。例 (20) では、先に「ひもが切れている」ことが発見され、そのあと「ナイフで切られた」ことを補足説明している。例 (21) では、「彼女が私をここに連れてきてくれたのだ」を補足説明している。

次節では、もう一つのタイプの原因を表す“是…的”構文を見てみる。

3.2 結果の原因を補足するタイプ

このタイプの“是…的”構文はある結果の原因を補足説明する。その原因はある動作や状況がある程度に達しているからである。(下線は筆者による)

(22) 当乘客们坐在路边田坎上等候时，有个妇女晕倒了，是饿晕的。 (CCL)

(乗客たちが田んぼ端の道路で待っているとき、ある婦人が倒れた。空腹で倒れたのだ。)

(23) 手指黄了，是抽烟抽的。 (CCL)

(指が黄色になった。たばこを吸いすぎたのだ。)

(24) 她脸红恐怕是海风吹的。 = (1)

(彼女の顔が赤くなったのは海風に吹かれたのだ。)

例 (22) では、先に「ある婦人が倒れた」結果が記述される。“是…的”構文で、倒れた原因は「空腹している」ことであることを提示している。例 (23) では、先に「指が黄色になった」ことを表し、“是…的”構文で指が黄色になった原因は「たばこを吸いすぎた」ことであることを提示している。例 (24) では、先に「彼女の顔が赤くなった」ことを表し、“是…的”構文で「彼女の顔が赤くなった」ことの原因は「海風に吹かれた」ことであることを提示している。このような“是…的”構文で表す原因は次の (22') - (24') の結果補文に言い換えることができる。

(下線は筆者による)

(23') 当乘客们坐在路边田坎上等候时，有个妇女 饿得 晕倒了。

(乗客たちは道路端の田んぼで待っているとき、ある婦人が飢えて倒れた。)

(24') 抽烟 抽得 手指黄了。

(たばこを吸いすぎて指が黄色になった。)

(25') 海风 吹得 她脸红了。

(海風に吹かれて顔が赤くなった。)

このタイプの原因を表す“是…的”構文はその結果が生じた原因を強調している。(23')-(25')では“得”による結果補文は原因を強調するニュアンスがなく、ただ一般の記述文である。このタイプの“是…的”構文は単独で応答文になることができる。

(26) “爷爷，你为什么动呀？”我爹说：“是风吹的。”

(余华 1995 : 234)

(「おじいちゃん、どうして動いてるの？」親父は答えた。「風のせいさ」)

(飯塚容 2002 : 12)

例(26)では“是…的”構文単独で、原因を問う疑問文の応答文になっている。このタイプの“是…的”構文は結果補文に言い換えることができるが、結果補文である“风吹得我动了”(風が強すぎて動いた)はこの発話場面に適応しない。“是…的”構文は“为什么”の応答文になるだけではなく、(23"-25")のように“怎么”の応答文になることもできる。

(23") 问：“那个妇女怎么晕倒了？”

(「あの婦人はどうして倒れたのか？」)

答：“是饿的。”

(「空腹だから。」)

(24") 问：“手指怎么黄了？”

(「どうして指が黄色になっているの？」)

答：“是抽烟抽的。”

(「たばこを吸いすぎたから。」)

(25") 问：“她脸怎么红了？”

(「彼女の顔どうして赤くなっているの？」)

答：“是海风吹的。”

(「海風に吹かれたから。」)

4 結論

本稿では原因を表す“是…的”構文の用法を明らかにした。原因を表す“是…的”構文には二種類がある。一つは“是…的”構文で表す原因はある事態を補足説明する場合である。この

場合、説明対象である事態は必ず言語化されるとは限らない。もう一つは“是…的”構文で表す動作がある程度に達してからある結果が起きる場合である。この場合、“是…的”構文は結果補文に変更することができる。

“是…的”構文で表す原因と説明対象は一つの事態である。説明対象である結果は前に現れ、“是…的”構文で表す原因は結果事態の詳しい情報を補足説明している。“因为”で表す原因と結果は二つの事態である。そのため、“是…的”構文は“为什么”とは共起できないが、「原因」表現とは共起することができる。

<注>

- 1) 劉月華（2001）は「已然義」を表す“是…的”構文が焦点を当てる成分の違いにより五つの種類に分けている。（1）焦点は連用修飾語の時間、場所、方式、条件、目的、対象、道具である。（2）焦点は施事である。（3）焦点は主語である。（4）焦点は受事である。（5）焦点はある行為又は状況であり、この行為または状況はある結果を起こしている。
- 2) 楊凱榮（2015）は“是…的”構文が原因を表す句や節と共起できる文例を挙げている。たとえば、“我是为孩子的事来的（私は子供のために来たんだ。）”“看来不是因为恐怖，而是因为兴奋而颤抖的。（恐怖から震えたのではなく、興奮しているからだ。）”。これらの文は本稿で扱う「結果-原因」のタイプの“是…的”構文とは異なるタイプと考える。
- 3) 肖任飞（2010：39）を参照。
- 4) 劉月華（2001）は“是…的”構文を“是…的（一）”と“是…的（二）”の二種類に分けている。“是…的（一）”は“是…的”でマーカされる動詞句である。次のような文であると分類している。
 - ①他是两点半出去的。（彼は二時半に出かけたのだ。）
 - ②我是在预售处买的票。（私は前売り場でチケットを買ったのだ。）
 - ③是小王告诉我的。（王さんが私に教えたのだ。）“是…的（二）”は、話し手が主語に対して、評価、記述、描写することを表す次のような文である。
 - ④我是历来主张军队要艰苦奋斗，要成为模范的。
（軍隊は刻苦勉強、人の範たらねばならないと私はかねてから主張しておる。）
 - ⑤张思德同志是为人民的利益而死的，他的死是比泰山还重的。
（張思德同志は人民の利益のために死んだのであり、彼の死は泰山より更に重い。）

<参考文献>

- 范晓 1998 《汉语的句子类型》，书海出版社。
- 吕叔湘 1999 《现代汉语八百词》，商务印书馆。
- 刘月华 2001 《实用现代汉语语法》，商务印书馆,p.762-784。
- 杉村博文 1999 <“的”字结构、承指与分类>，《汉语现状与历史的研究》，江蓝生、侯精一主编，中国社会科学出版社,p.47-66。
- 肖任飞 2010 《现代汉语因果复句优先序列研究》，中国社会科学出版社。
- 楊凱榮 2015 <汉语事件句的焦点化动因>，《日本中国語学会第 65 回全国大会予稿集》，p.8-12。
- 赵金铭 1999 <现代汉语中“V・de”格式的分化及其后续成分的省略>，《汉语现状与历史的研究》，江蓝生、侯精一主编，中国社会科学出版社,p.67-86。

<例文出典>

余华 1995 《余华作品集》,中国社会科学出版社。

飯塚容 2002 『活きる』,角川書店。

CCL : http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/index.jsp?dir=gudai

*本稿で出典を明記していない例文は筆者の作例である。また、日本語訳文で出典を明記していないものは筆者による訳である。

主指導教員（朱継征教授）、副指導教員（大竹芳夫教授・土屋太祐准教授）